

私の留学体験記

広島県立可部高等学校 2年 江藤 響（えとう ひびき）

留学期間 平成29年7月29日～平成29年8月12日（15日間）

留学先 サイエンスハイスクール、ウェルツ校（セブ島、フィリピン）

私が留学したセブ島では、午前と午後で学校が違いました。午前中はサイエンスハイスクールという学校で「音楽」「伝統ダンス」「演劇」の授業に参加をしました。サイエンスハイスクールでは一人一人にバディーがついて、英語で優しく教えてくれました。私は英語が全く分からないので、何回も聞いてしまい迷惑をかけました。

「音楽」はウクレレを使いました。3曲は弾いて、1曲は歌いました。全てフィリピンの歌だったので難しかったです。フィリピンの伝統ダンスは男女がペアになって踊ります。帽子を使ったダンスでとても面白かったです。そして、伝統ダンスが終わると洋楽にあわせ、皆で踊りました。有名な洋楽だったため私でもわかり、とても楽しく踊れました。こんな授業は日本にはないので、ぜひ取り入れてほしいと感じました。そして「音楽」・「ダンス」・「演劇」を最終日にサイエンスハイスクールの全生徒に見せました。全てうまく行ってよかったです。フィリピンの高校は携帯を持ってきていいので、仲良くなった人とLINEやInstagramを交換しました。今でも電話したりメッセージのやり取りをしたりしています。

午後の授業はウェルツ校での少人数授業でした。最初の日には英語力テストがありました。そのテストの結果によってレベルが変わり、私は同じ英語力の人たちと授業を受けました。授業は先生が1人、日本の生徒が6人でした。1コマ90分の授業でしたが、とても短く感じました。セブ島の先生はとても明るく、面白い先生ばかりでした。授業は何を言っているのかわからないことが多く、先生に何回も質問しました。しかし、言われている内容が理解できた時や、先生と二人で会話できた時、少しは成長したと感じました。先生ともLINEやInstagram、Twitterを交換して英語の質問をしたり、楽しく話したりしました。

授業後は寮に戻り、ご飯を食べたり、プールに入ったり、韓国人や中国人の留学生と話したりして、とても楽しく過ごせました。休日は、フィリピンで1番大きなショッピングモールに行っ
て買い物をしたり、綺麗な海に行ったりしました。セブ島の海はとても綺麗で感動しました。

フィリピンの人達は皆笑顔で明るく、留学を通して私はフィリピンの人々の生きる力を、沢山感じ刺激を受けました。また、英語力が少し向上したと実感しています。この2週間の短期留学を通して、異文化や他国の状況を知ることができたことは、私にとって非常に貴重な体験となりました。今以上に英語の勉強に励み、次に留学する時には、英語で会話する事が出来るようになりたいと考えています。